



新座市立 新座ふれあいの家

施工地/埼玉県新座市新座2-14-61
竣工年月/平成27年3月
敷地面積/1,000.00㎡
延床面積/429.50㎡
構造/鉄骨造平屋建

賑わいと交流を生む集いの場

埼玉県の最南端に位置し都心から25km圏内にある新座市は、交通至便な地でありながら、武蔵野の面影を残す緑豊かな自然環境に恵まれる、首都圏近郊の住宅都市であります。

新座市内には現在40箇所を越える市立集会所があり、町内会活動やサークル活動、懇談会など市民の交流の場として利用されております。既存の新座集会所の老朽化に伴い、旧新座小学校跡地に計画された「新座ふれあいの家」は、地域のコミュニティ活動の新たな拠点として、世代を越えた住民相互の親睦と交流を図ることを目的に2015年4月にオープンいたしました。

快適な施設を目指し

本施設の設計においては、地元町内会をはじめ近隣町内会の方々から施設に対するご要望を伺う建設検討委員会を開催し、建物配置や間取りのほか諸室の利用形態等のご要望をいただきながら、利用される地域の方々にとってより良い施設となるよう計画をいたしました。

敷地内から内部にはスロープや手摺を設置し段差のない安全な動線を確認し、外部からの見通しの良い「立ち寄りスペース」は誰でも気軽にお立ち寄りいただけるよう明るい空間としお客様をお迎えます。サークル活動や卓球などの軽運動の場となる軽体育室は、狭小とならないよう天井高(約4m)を確保し、ハイサイドライト(高窓)を設けて南側からの採光に配慮、北側の開口部にはフルオープンサッシを採用し、施設に隣接する公園と連続する一体的利用が可能な明るい開放的な施設が完成しました。

さらに、自然エネルギーの積極的活用として屋外照明には太陽光と風力のハイブリット型LED街灯を採用し、施設屋根の南面には3.5kw出力の太陽光発電パネルを設置しました。発電された電気は施設内の照明設備等に利用し、省エネルギーに努めながらCO2の削減に寄与する地球環境に優しい「新座ふれあいの家」となっております。



バリアフリーのエントランス

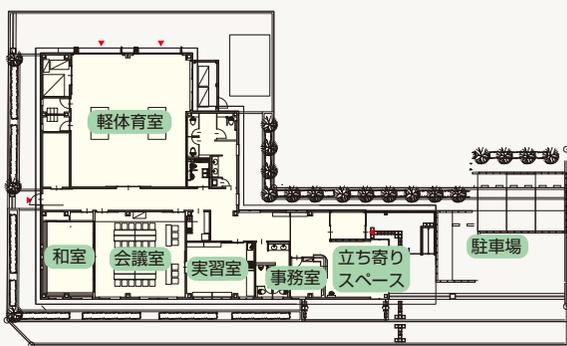


開放的な「立ち寄りスペース」



実習室

配置図兼1階平面図



0 2 5 10 20(m)



会議室・和室



会議室



和室



軽体育室



軽体育室(フルオープンサッシ)



多機能トイレ